

## 2020年センター報告・日誌

### 1. 運営

#### 社会科学古典資料センターウェブサイトのリニューアル

社会科学古典資料センター（以下、「センター」と記す）のウェブサイトをリニューアルし、3月2日に公開した。先にリニューアル・公開した附属図書館ウェブサイトとデザインをそろえユニバーサルデザインへ対応するとともに、ウェブサイトの管理・運用にかかる職員の業務の軽量化・合理化とセキュリティの向上を図った。

<https://chssl.lib.hit-u.ac.jp/>

#### 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために以下の対策を講じた。

3月25日よりセンター見学の入館を休止した。3月30日に国立キャンパスにおいて当分の間大学関係者以外の入館が禁止となったことに伴い、4月1日より学外者のセンター利用を休止した。4月9日よりテレワークが導入され、4月10日より臨時休館した。

6月15日に「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための一橋大学の活動指針」のレベルが2（制限（小））に引き下げられ、6月22日より開館した。ただし、開架資料は当日の利用を認めず事前予約制とし、授業利用・見学受入・学外者利用は引き続き休止とした。また、貴重書閲覧は1日1人までとし、一度利用した閲覧席は次回利用まで1週間空けることとした。さらに、30分ずつ開館時刻の繰り下げ・閉館時刻の繰り上げを行い、施設設備の消毒時間にあてた。

7月31日、附属図書館経由で、センター開架資料の貸出・複写受付を開始した。8月17日、附属図書館で学内者向けに資料の郵送貸出および複写物の郵送サービスが地域制限付きで開始されたことに伴い、センターでも同様のサービスを行うこととした。9月1日より郵送サービスの地域制限が撤廃された。9月14日より開架資料の当日閲覧を可とした。

#### 西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」

「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」（2016～2018年度、文部科学省共通政策課題「文化的・学術的な資料等の保存等」）の一環として立ち上げた西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」を2020年も引き続き運営し、感染症対策・展示・フォーラム等に関する情報交換を国内の複数の図書館と行った。

### 2. 研究事業

#### 科学研究費助成金事業

科研費基盤研究（C）「一橋大学社会科学古典資料センター所蔵の旅行記についての研究」（2017年度～2019年度、課題番号：17K00465、研究代表者：江夏由樹）を2020年3月まで実施し、メンガー文庫やフランクリン文庫などに含まれる17～19世紀旅行記の内容分析を行った。研究成果は科学研究費助成事業データベースで公表されている。

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-17K00465/>

## 共同研究

国立民族博物館共同研究課題「博物館における持続可能な資料管理および環境整備—保存科学の視点から」（2017年度～2021年度，研究代表者：園田直子）に馬場助教が参加し，文化財を管理・公開する機関における新型コロナウイルス感染予防対策や持続可能な資料の保存管理・環境整備について，文化財を扱う各種機関の担当者らと議論した。

## 3. 資料の公開・利用促進

### 『16－18世紀法学文献コレクション』シリーズIV・V目録（抜粋）公開

一橋大学大学院法学研究科の勝又崇氏の協力により，「16－18世紀法学文献コレクション」目録未整備部分のデータ作成を再開。書誌事項データ未採録部分のデータ作成のほか，すでにデータベース化されていた部分についても追加データの採録を進めた。作成したデータのうち，マックス・プランク・ヨーロッパ法史研究所（Max-Planck-Institut für europäische Rechtsgeschichte, MPIER）で未所蔵と判断されたタイトルのみを抽出した目録を『一橋大学社会科学古典資料センター年報』40号にて公開した。

<https://doi.org/10.15057/31139>

## 4. 講習会

### 西洋社会科学古典資料講習会、西洋古典資料保存地域講習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，2020年は開催を中止した。

## 5. その他

### ドラマ『異世界居酒屋「のぶ」』への協力

WOWOWドラマ『異世界居酒屋「のぶ」』への協力依頼が株式会社ザフルよりあり，屋敷教授が小道具やドイツ語テロップ等に関する助言を行った。同ドラマはWOWOWプライムで2020年5月から全10回に渡って放送された。

### 日誌（2020年1月～12月）

- |       |  |
|-------|--|
| 1月15日 | 中国人民大学より見学者来訪（引率：中国交流センター 青木教授）                                  |
| 2月3日  | 静岡県立図書館より見学者来訪   |
| 2月19日 | 毛髪式温湿度計5台を更新（いすゞ製作所製クォーツ精密自記温湿度計 TH-27R）                         |
| 3月2日  | ウェブサイトのリニューアル  |
| 3月25日 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見学受入を休止                                       |
| 3月31日 | 『Study Series』No.76：坂倉裕治・小関武史・松波京子『書物の記述・世界の記述：書誌が描く18世紀啓蒙の世界』発行 |
| 3月31日 | 『一橋大学社会科学古典資料センター年報』（電子版）第40号発行                                  |

3月31日	大月康弘センター長、屋敷二郎センター教授が退任
4月1日	三隅隆司センター長、森宜人センター准教授が着任
4月1日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学外者の利用受付を休止
4月10日～6月19日	本学教職員の新型コロナウイルス感染症リスク低減のためのキャンパス内業務最小限化により臨時休館
6月22日～	制限付きで利用再開
6月30日～7月3日	第21回社会科学古典資料センター専門委員会（メール審議） 議題：1 令和元年度決算報告および令和2年度予算案について 2 令和2年度事業計画について 3 その他
7月3日	『一橋大学社会科学古典資料センター年報』編集委員会設置要領改正
7月31日	開架資料を附属図書館経由で貸出開始
8月17日	開架資料郵送貸出を開始（地域制限あり）
9月1日	開架資料郵送貸出の地域制限を撤廃
9月14日	開架資料の当日閲覧を再開
10月30日	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、玄関洗面台を自動水栓に交換
11月10日	屋上排水管の高圧洗浄

### 利用状況（2020年1月～12月）

開館日数	186日
来館者（閲覧者）数	81人
（学内）	68人
（学外）	13人
利用（閲覧）冊数	131冊
（学内）	98冊
（学外）	33冊
文献複写冊数	64冊
見学者数	12人
講習会・研修会参加者数	8人
レファレンス質問件数	12件
学内授業利用回数	0回
学外授業利用回数	0回
館内展示実施回数	1回
館外展示貸与冊数	0冊
学内他部局資料保存修理冊数	
2019年4～12月	69冊（1～3月分は40号に掲載）
2020年1～12月	431冊